年間授業計画　新様式例

# 高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　国語　科目　現代の国語

教　科：　国語　科　目：　現代の国語　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（　1組：島）（２組：倉田）（３組：島）（４組：倉田）（５組：島）（６組：倉田）（７組：島）（８組：倉田）

使用教科書：（「精選　現代の国語」　東京書籍　）

教科　国語　の目標：

【 知識及び技能 】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 話・聞 | 書 | 読 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 「まだ知らない自分に出会う」<br>・指示語や文章のまとまりをとらえながら、筆者が考える | ・筆者にとっての「本を読む意味」をとらえる。<br>・対話の中で形成される自分でも思ってみなかった自分との出会いについて考えさせる。<br>・自分の経験と結びつけ、日常生活における「まだ知らない自分」との出会いを見つけ、発表する。<br>・一人１台端末の活用 | | | ○ | ・常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。<br>・文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。<br>・述べられた事柄から、筆者の考えを理解している。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「水の東西」<br>・論旨を正確に追いながら、筆者の言う文化の相違を読み取らせる。 | ・段落構成を明らかにして論理展開を理解させる。<br>・対比されている語句、内容を整理しながら読解させる。<br>・指示語の指示内容、接続詞の意味やはたらきに注意しながら読解させる。<br>・提示されている例から、筆者が何を論証しようとしているのか、その意図や意味を考え、筆者の観点や思いを読解させる。<br>・一人１台端末の活用 | | ○ | | ・主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。<br>・鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解し、筆者の考える日本の文化、日本人の独特の感性について読み取っている。<br>・日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 「言葉は世界と切り分ける」<br>・言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて考え、まとめる。 | ・文章の構成をつかみ、表現を理解する。<br>・言葉の「面としての意味」について、具体例を踏まえて読み取り、まとめる。<br>・異なる言語が世界を異なる仕方で分節することについて具体例を踏まえて読み取り、まとめる。<br>・一人一台端末の活用 | | ○ | | ・主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。<br>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。<br>・目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 「真の自立とは」<br><br>・構成をとらえるとともに筆者の言う「真の自立」の意味するところを正確に把握する。 | ・文章の構成をつかみ、表現を理解する。<br><br>・現代社会における「できる」「できない」の構造とそれが人生に及ぼしている影響について読み取る。<br><br>・筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立：という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。<br><br>・筆者の意見に対する自分の意見をまとめる。 | ○ | | | ・主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。<br><br>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、用紙や要点を把握している。<br><br>・目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」<br><br>「自らの人生を生きるという行為」は「人間や生物にのみ許された行為である」と筆者がと考える理由を「人工知能」との対比を踏まえて理解し、まとめる。 | ・コミュニケーションに関する「クロード・エル・ウッド・シャノンらの考え方」とはどのようなものか読み取りまとめる。<br><br>・「場」と「身体」との関係に注意しながら、「こうした考え方」が、どのような考え方を指しているのかを読み取り、まとめる。 | | | ○ | ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。<br><br>・目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 3学期 | 「白」<br><br>・筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。 | ・「白」が人間の意識に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。<br><br>・「推敲」という美意識を手掛かりに筆者の言う「白という感受性」とはどのようなものなのか読み取り、まとめる。<br><br>・『徒然草』の例によって示された「白」の持つ意味を、本文の論旨をもとに読み取り、まとめる。 | | ○ | | ・主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。<br><br>・目的に応じて文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。<br><br>・積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめよう | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計<br>70 |